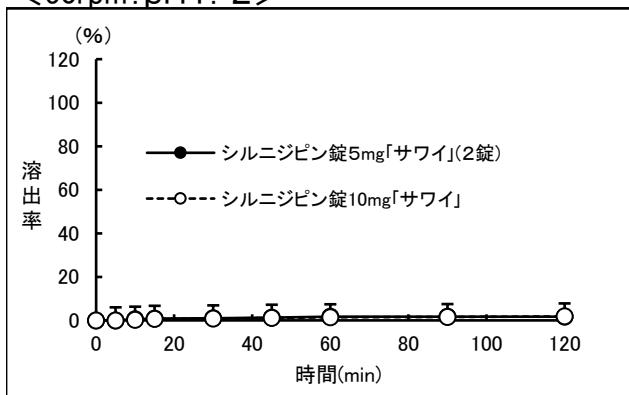


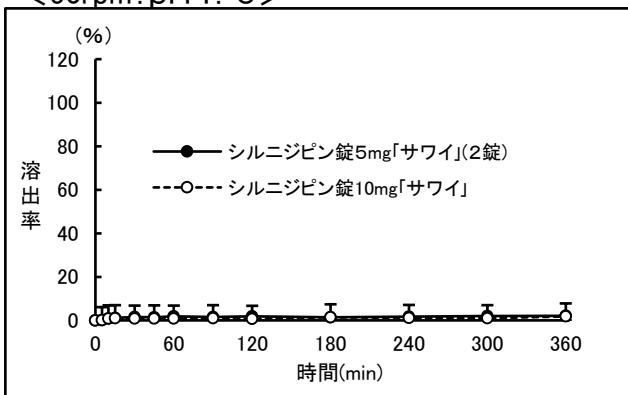
# シルニジピン錠 5mg「サワイ」

通知等	「含量が異なる経口固形製剤の生物学的同等性試験ガイドライン」: 平成18年11月24日 薬食審査発第1124004号	
試験条件	パドル法	50rpm(pH1.2、4.0、6.8、水) 50rpm(ポリソルベート80 0.1%(W/V)添加:pH1.2、pH4.0、pH6.8) 100rpm(pH4.0ポリソルベート80 0.1%(W/V)添加)
試験回数	12ペッセル	
試験製剤	シルニジピン錠5mg「サワイ」(2錠)	
標準製剤	シルニジピン錠10mg「サワイ」	
結果及び考察	<p>&lt;50rpm:pH1.2&gt;            測定した全ての時点において、試験製剤の平均溶出率は標準製剤の平均溶出率±6%の範囲にあった。            最終比較時点(120分)における試験製剤の個々の溶出率は、試験製剤の平均溶出率±9%の範囲を超えるものが12個中1個以下で、±15%の範囲を超えるものがなかった。</p> <p>&lt;50rpm:pH4.0&gt;            測定した全ての時点において、試験製剤の平均溶出率は標準製剤の平均溶出率±6%の範囲にあった。            最終比較時点(360分)における試験製剤の個々の溶出率は、試験製剤の平均溶出率±9%の範囲を超えるものが12個中1個以下で、±15%の範囲を超えるものがなかった。</p> <p>&lt;50rpm:pH6.8&gt;            測定した全ての時点において、試験製剤の平均溶出率は標準製剤の平均溶出率±6%の範囲にあった。            最終比較時点(360分)における試験製剤の個々の溶出率は、試験製剤の平均溶出率±9%の範囲を超えるものが12個中1個以下で、±15%の範囲を超えるものがなかった。</p> <p>&lt;50rpm:水&gt;            測定した全ての時点において、試験製剤の平均溶出率は標準製剤の平均溶出率±6%の範囲にあった。            最終比較時点(360分)における試験製剤の個々の溶出率は、試験製剤の平均溶出率±9%の範囲を超えるものが12個中1個以下で、±15%の範囲を超えるものがなかった。</p> <p>&lt;50rpm:pH1.2ポリソルベート80 0.1%(W/V)添加&gt;            標準製剤が規定された試験時間(120分)における平均溶出率の1/2の平均溶出率を示す時点(30分)及び規定された試験時間(120分)において、試験製剤の平均溶出率は標準製剤の平均溶出率±8%の範囲にあった。            最終比較時点(120分)における試験製剤の個々の溶出率は、試験製剤の平均溶出率±12%の範囲を超えるものが12個中1個以下で、±20%の範囲を超えるものがなかった。</p> <p>&lt;50rpm:pH4.0ポリソルベート80 0.1%(W/V)添加&gt;            標準製剤の平均溶出率が40%(15分)及び85%(360分)付近の2時点において、試験製剤の平均溶出率は標準製剤の平均溶出率±10%の範囲にあった。            最終比較時点(360分)における試験製剤の個々の溶出率は、試験製剤の平均溶出率±15%の範囲を超えるものが12個中1個以下、±25%の範囲を超えるものがなかった。</p> <p>&lt;50rpm:pH6.8ポリソルベート80 0.1%(W/V)添加&gt;            標準製剤が規定された試験時間(360分)における平均溶出率の1/2の平均溶出率を示す時点(10分)及び規定された試験時間(360分)において、試験製剤の平均溶出率は標準製剤の平均溶出率±8%の範囲にあった。            最終比較時点(360分)における試験製剤の個々の溶出率は、試験製剤の平均溶出率±12%の範囲を超えるものが12個中1個以下で、±20%の範囲を超えるものがなかった。</p> <p>&lt;100rpm:pH4.0ポリソルベート80 0.1%(W/V)添加&gt;            標準製剤の平均溶出率が40%(10分)及び85%(180分)付近の2時点において、試験製剤の平均溶出率は標準製剤の平均溶出率±10%の範囲にあった。            最終比較時点(180分)における試験製剤の個々の溶出率は、試験製剤の平均溶出率±12%の範囲を超えるものが12個中1個以下で、±20%の範囲を超えるものがなかった。</p> <p>以上の結果より、両製剤の溶出挙動は同等であると判断した。            本剤の処方変更水準はB水準であり、両製剤の溶出挙動は同等であったことから、両製剤は生物学的に同等であるとみなした。</p>	

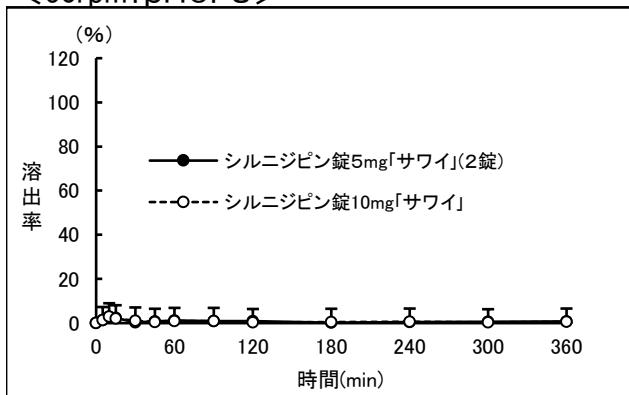
<50rpm:pH1. 2>



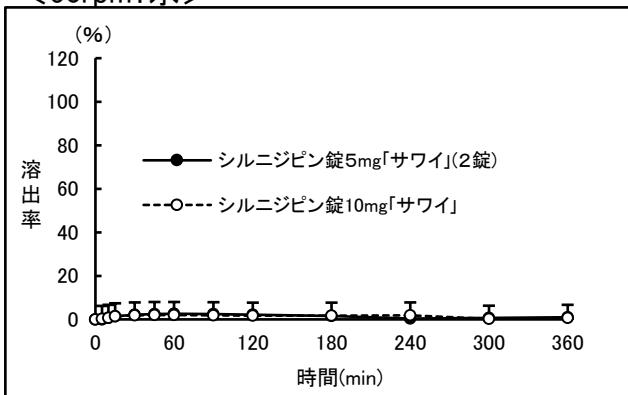
<50rpm:pH4. 0>



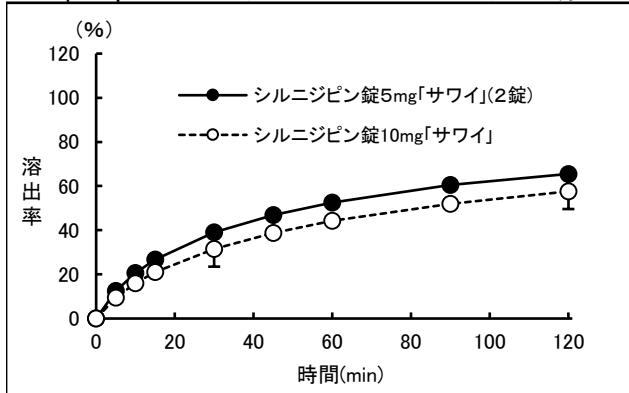
<50rpm:pH6. 8>



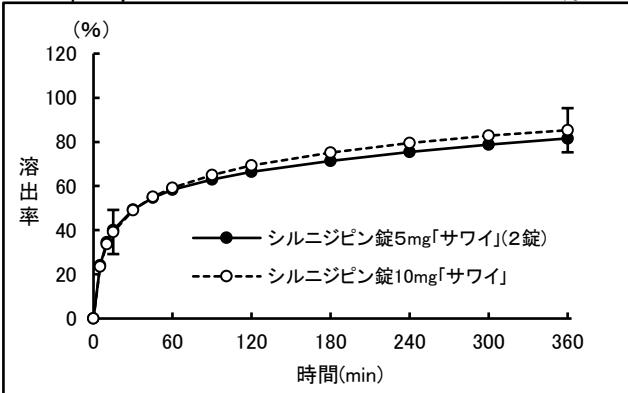
<50rpm:水>



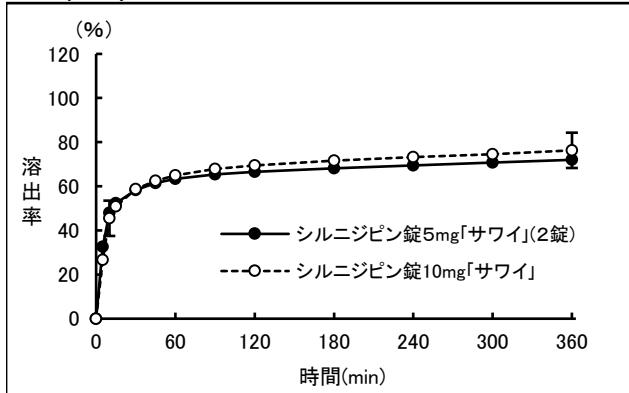
<50rpm:pH1. 2ポリソルベート80 0.1%(W/V)添加>



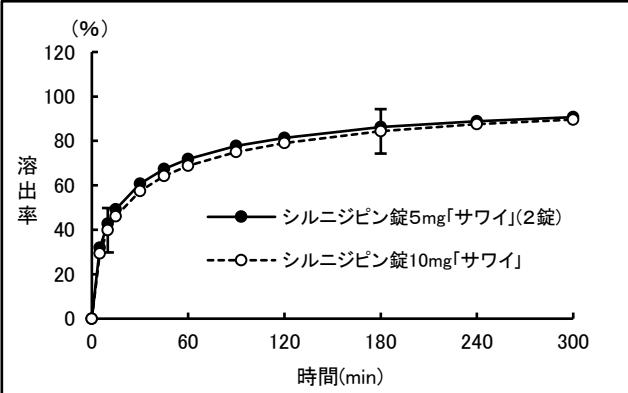
<50rpm:pH4. 0ポリソルベート80 0.1%(W/V)添加>



<50rpm:pH6. 8ポリソルベート80 0.1%(W/V)添加>



<100rpm:pH4. 0ポリソルベート80 0.1%(W/V)添加>



(I:判定基準の適合範囲)